

21老福連・第14回 職員研究交流集会 in 島根



おちらとだんだん

瓦版
第2号

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会

秋深まる、 大会せまる！



寒げなわー

寒そうですよ



さあ、もうすぐ大会です！

夏の暑さもやっと一段落し、肌寒い季節はもうすぐです。みなさまお元気にお過ごしでしょうか？12月の交流集会まで残すところあと2か月となりました。こちら実行委員会も大会の成功に向けて着々と準備をすすめているところです。みなさまにおかれましても、発表の準備や参加の調整などでお忙しくされていることと存じます。

当日は日頃の仕事を通しての思いを全国からたくさん持ち寄ってお越しいただけることを楽しみに、島根でお待ちしております。

大会1日目（12月13日）のご紹介

歓迎セレモニー、開会挨拶・オリエンテーション、基調報告に続いて…

記念講演 I

13日（土）13:50～14:50

「やさしい憲法」

講師：岡山中庄架け橋法律事務所
弁護士 呉 裕麻氏

私たち福祉に携わる職員は、高い人権意識が必要です。でも、その人権が大切だという考え方はどこから来たものでしょうか？すべてのルーツに繋がるのが「憲法」です。私たちや利用者の方の日常に、憲法が存在していることを気付かされるお話です。憲法の堅苦しいイメージががらりと変わることをお約束します。

トークセッション

13日（土）15:05～17:00

「とことん憲法」

憲法の基本的な考え方を学んだ後は、これからの世代を担う若者の声に耳を傾けてみましょう。同じ福祉の現場で働く仲間のトークセッションです。特養の高齢者は個人として尊重されているの？幸せの意味って何？・・・利用者の方に接する場面を思い出し、「あるある！」と感じる一方で、ドキリとさせられるトークをお楽しみください。心に何か引っかかりを覚えた方は、明日の分科会で自分の想いを話してみましよう。

島根みどころ

松江市を中心にご紹介します！



松江城

1611年築城。別名千鳥城。
松江市の中心にそびえる松江城は、木造の
天守閣まで階段で昇ることができ、四方を
一望できます。
周辺は城山公園として整備されており、城
を囲むお濠につながる堀川では遊覧船めぐ
りを楽しむことができます。

神塊神社

(かもすじんじゃ)

当地を支配していた出雲国造家(現出雲大社の宮司)が出雲大社付近に移住する前に祭事を行っていたという説もある神社。本殿は国宝。
祭神であるイザナミノミコトが女神ということで千木(ちぎ：屋根のバツテン部分)は水平になっています。
周辺の森には「立ち入れば死ぬ」といわれた禁足地あり、いまの神社の形がうまれる以前に信仰の対象であったと思われる巨石群や池、国造家の墓地とみられるものもありますが、詳細については現在の国造家には詳細は伝承されていないといひます。
出雲大社や古代出雲王国の謎が静かに眠る歴史好きにはたまらない穴場です。



みてくだわ

見てっね



宍道湖

海水と淡水が混じり合う汽水湖であり、「宍道湖七珍」と呼ばれるシジミやシラウオなどの魚介類がとれます。
東岸は夕日のスポットとしても有名なので、夕方になるとカメラを片手に人々が集います。
きれいな夕日が見られるかどうかは運(天気)次第です。



お知らせ

“縁結びの地”出雲なら
ではの企画、カップリング♡
出会いを求めている方!!

参加募集

詳細は次号にて!!

縁からはじまる！ 交流会！

今年も恒例の21. 老福連が開催されます！

この機会を、ぜひとも人と人がつながる「縁結び」の場にしたいと、
現地実行委員会担当一同、張り切って準備を進めています。

ということで、交流会では全国からのおいしいお酒、お菓子を囲みながら、「縁」をむすびましょう！



第一弾！！



地元のお酒、お菓子などをお持ち寄りください

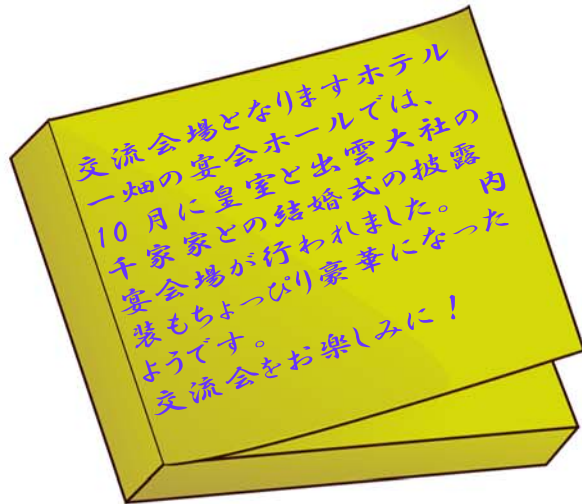
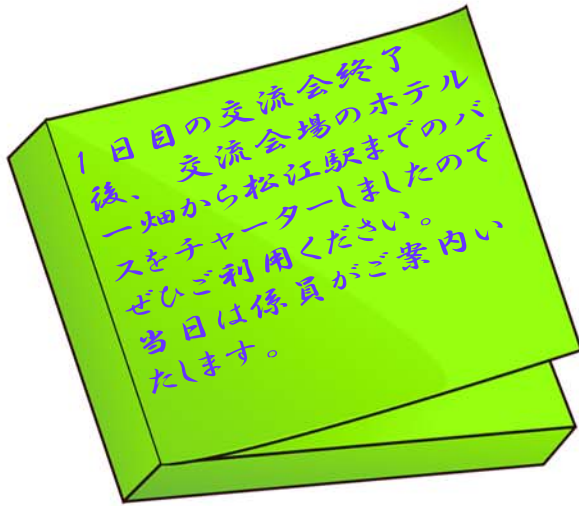
お持ちいただきました自慢の〇〇！！は交流集会初日の全体会開催前に、受付までお持ちいただきますようお願いいたします。

会場周辺のお食事情につきまして

交流会開催中の期間は、忘年会シーズンということもあり、お店が込み合うことが予想されますので、事前にお店に予約されることをお勧めいたします。

※延長しました

◇発表原稿11月5日、参加申し込み11月13日、締め切り!◇



本瓦版名称 おちらと だんだん

おちらとだんだん

「おちらと」は島根の方言で「ゆっくりと」「くつろいで」の意味。これに「ありがとう」を意味する「だんだん」を合わせ、おもてなしの気持ちを込めました。

瓦版マスコット キャラクター

まがちやま

特技は「うなぎのぼり」
苦手なもの「標準語」



よーすく
お願いします

よろしく
お願いします



方言翻訳担当
しじみ娘 です